

会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市人と動物との共生社会推進懇話会				
事務局 (担当課)		生活衛生課 電話042 - 769 - 8347 (直通)				
開催日時		平成29年7月4日(火) 午後1時30分～3時				
開催場所		会議室棟 2階 第12会議室				
出席者	委員	7人(別紙のとおり)				
	その他	0人(別紙のとおり)				
	事務局	5人(生活衛生課長、他4人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 あいさつ 2 議事 (仮称)相模原市猫の適正飼養ガイドライン(案)について 3 意見交換				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員の発言、 は事務局の発言)

1 あいさつ

課長あいさつ

2 議事

(仮称)相模原市猫の適正飼養ガイドライン(案)について

事務局から、前回の懇話会で提示した素案からの変更点を説明し、委員よりご意見をいただいた。ご意見を参考に修正したものを、後日各委員に送付することとした。

【 1(1)うち猫】

「うち猫」は、「いえ猫」と呼んでいる人が多い。

【 2(1)猫の習性を知ること】

知ってもらいたい猫の習性が、不妊去勢手術やトイレの設置の2つと読み取れるので、「不妊去勢手術」の前に「また、」を入れ、「トイレを設置」の後に「するなど」を入れると良い。

不妊去勢手術をすることで、繁殖を防ぐこと以外に、生殖器関係の病気を予防できることをどこかで記載してもらいたい。

【 2(3)終生飼養】

「猫との楽しい時間だけを共有するのではなく」ではなく、「猫を終生飼養するために」と記載した方が良い。

【 2(4)屋内飼育】

猫は1度でも外に出てしまうと外に出たくなるので、1度も外に出さずに飼うことを書いた方が良い。

【 2(7)費用】

不妊去勢手術代は毎年かかる費用ではなく、飼い始めに1度かかる費用と分かるよう表現を検討してもらいたい。

マイクロチップの費用やウイルス検査費用を記載してもらいたい。

餌代20,000円では足りないと思う。

【 2(8)猫をどこから迎えるか】

一般の人には動物の収容施設がどこか分からないので、行政の収容施設と分かるように記載した方が良い。

【 3(1)不妊去勢手術】

多頭飼育崩壊の説明で、多頭飼育崩壊の状態は、動物虐待と扱われることもあることを記載した方が良い。

【 3 (2) 猫の病気および健康管理】

ワクチン接種は、病気を完全に予防するものだけではなく、症状の軽減に限られるものもあることを記載した方が良い。

猫免疫不全ウイルス感染症（猫エイズ）等ワクチンで予防できない病気があると記載されているが、猫エイズについてはワクチンがあるので記載方法を検討してもらいたい。

【 3 (5) 逸走防止】

捕獲ケージが何か分からない人もいるので、説明を記載した方が良い。

市で捕獲ケージを貸し出していることについても、記載した方が良い。

逃げてから時間が経つと捕まりにくいので、逃げたときは、速やかに捕獲することを記載してもらいたい。

【 3 (7) 災害対策】

避難所への同行避難について、ペットの受入れが認められた場合とあるが、認められなかった場合について併記した方が良い。

【 4 (2) トイレを設置し、管理する】

トイレの管理だけでなく、糞を見たら片づけることを入れた方が良い。

【 1 行政ができること】

地域猫に関する説明会の実施など行政側の具体的なアプローチについて記載してもらいたい。

不妊去勢手術の費用を、オス 円、メス 円と記載した方が分かりやすい。

助成金額は変わる可能性がある。補助金の資料や申請書、地域猫のパンフレット、他法令の資料などはガイドラインと別に、併せて配布することを考えている。

【 1 社会性・行動範囲】

飼養部屋に用意するものとして、おもちゃ、爪とぎの他にトイレを記載した方が良い。

【 5 (1) 爪とぎについて】

「爪とぎを用意しましょう」と、他の項目とそろえて記載した方が良い。

【巻末 ペットのプロフィールシート】

猫のガイドラインに、犬は必要ないのでは。

3 意見交換

【災害対策について】

災害時の動物の対応について、どのように決まっているか。

本市は、横須賀市及び藤沢市とともに、神奈川県災害時動物救護活動マニュアルに規定する災害時動物救護活動実施団体に参加している。市内で捕獲又

は引き取った犬猫は平塚にある神奈川県動物保護センターに搬送することとなっているが、災害の規模や場所により搬送できないことも考えられる。また、市単独では、市獣医師会及び麻布大学と負傷動物の受入れについて協定を結んでいる。

ペットの同行避難については、避難所運営協議会がペットの受入れを認めるかを決定する。

ペットの同行避難が認められるよう、避難所運営協議会や市全体の防災の会議などで問題提起をし、話をしていきたいと考えている。

動物の仮設シェルターの設置を要することが想定されるが、現在、動物のケージ等の備蓄は少なく、課題である。

避難所の中で、動物と一緒にでは困る人と、動物を飼う方と、スペースを分けるのが一番良いのではないか。日陰側のスペースなど動物の保管に良い場所について、基本的な考え方を示すと良いのではないか。小学校と中学校が隣接している所などで、ペット受入れに積極的な避難所と消極的な避難所とに分けることはできないか。

避難所の中でどのスペースをペットの飼育スペースとするかは、避難所運営協議会に任されている。高齢者、障害のある方、乳児など配慮が必要な方もいらっしゃる中で、ペットの飼育スペースをどう決めていくのか、非常に難しい。

自治会は避難所運営協議会を立ち上げる協力をするが、危機管理局がマニュアルを作成している。地域の全員に避難する権利はあるが、学校の限られたスペースの中に全市民は入れず、どのように人を入れるのかと頭を悩ませている。ペットを連れて来られた方をどうするかを考える余裕がないのが現状である。地域に委ねるのではなく、要望事項を取りまとめて、危機管理局に投げかけてもらいたい。

災害時に放浪し飼い主が判明しない動物を放置すると、その後動物を保護するのに大変な苦労する。野良猫も含めて、飼い主が分からない動物についてどうするか、事前に話し合っていたきたい。

避難所運営協議会に丸投げではなく、前もって職員が各町内会に説明することは必要だと思う。

個人で飼っている特定動物をどうするのか確認が必要。

地域防災計画で、特定動物の被災状況を確認し、飼養者に逸走防止を指導することと規定している。

動物愛護センターの設立は何年後と決まっているか。災害時の対応を考え設立をお願いしたい。

動物愛護センターなど災害時等に拠点となる施設が必要であることは認識

し、現在設置に向け鋭意努力しているところである。

市では何を備蓄しているか。テントの備蓄はあるか。また、備蓄品を動物病院に保管できないか。備蓄の場所は分散する方が良い。

緑区小淵と南区南台に大中小のケージ、首輪及び鎖を備蓄している。テントの備蓄はない。ケージが大きいので動物病院に保管を依頼していない。ペットフード協会は5日ほどでフードを提供できると聞けるが、市が要請するのか。

市としては行わず、県が窓口になり要請することとなっている。

災害の規模は、大規模のものを想定しているか。過去に避難所へ動物を連れて行くケースはあったか。

規模が小さいものも想定しており、断水や風水害の時に避難所が立ち上がる可能性がある。今まで避難所にペットの同行避難があったという話は聞いたことがない。

ペットを連れて避難してはいけないと思っている方が多いので、同行避難の周知を行ってほしい。

【地域猫について】

地域猫はだれが世話をするのかなど、ルールについて近隣ともめることがあるが、行政としてどの程度関与するのか。

本市が実施している地域猫活動モデル事業において、地域猫活動の実施にあたっては、自治会等の合意を条件としており、必要に応じ、自治会の会長等に対し行政とボランティアと一緒に説明を行い、合意形成を支援している。

相談は、被害を受けている方からも、餌を与えている方からも受けている。現在、モデル事業の説明としては、地域の環境問題として取り組んでいること、実際に世話をするのは猫に困っている方や餌を与えている方であること、ルールを守って実施することを説明し、地域猫としてこれ以上猫を増やさないという方法をとりませんかのご案内している。

モデル地域は何地区あるのか。

現在8地区ある。

モデル事業は今年度までであり、来年度からの制度の在り方について、今後御意見を伺いたいと考えている。

相模原市人と動物との共生社会推進懇話会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	植竹 勝治	麻布大学	教授	欠席
2	金城 智之	一般社団法人 相模原市獣医師会	獣医師	出席
3	山田 佐代子	公益財団法人 神奈川県動物愛護協会	会長	出席
4	大矢 秀臣	全日本動物輸入業者協議会	事務局長	出席
5	大木 恵	相模原市自治会連合会	理事	出席
6	大貫 栄 (代理出席)	社会福祉法人 相模原市社会福祉協議会	福祉推進課 市民活動係長	出席
7	石丸 雅代	たんぼぼの里	代表	出席
8	山本 和子	相模原市動物愛護推進員		出席
9	長谷川 香奈子	相模原市動物愛護推進員		欠席